



院内の朝顔

着任のごあいさつ

この度、4月1日付けにて、浜田医療センターより、看護部長として就任しました金中です。山口県宇部市の生まれで、山口県、広島県、島根県で勤務し、今回、愛媛県で勤務をさせていただくことになりました。愛媛県には、道後温泉、石鎚山などの観光で何度か訪れ、歴史と自然の豊かな地域という印象で赴任時に病院の側の重信川河川敷の見事な桜並木のピンクと菜の花の黄色、山々の新緑の美しさに感動しました。慌ただしい日々の中で季節を感じることができ、心が和みました。

当院は、4月から松山医療圏域の二次救急病院としての役割を開始するために、昨年度から準備を進め、無事にスタートすることができました。今後は、二次救急病院としての体制整備と救急患者の受け入れによる患者数の確保、病床の効率的な運用を行っていくことが必要だと考えています。

また、愛媛医療センターの職員は、一人ひとりが、日々の業務において問題意識を持ち、問題解決のための取り組みをしていると感じています。そのため、看護職員が自分の仕事に誇りを持ち、生き生きと働くことができ、患者さんに信頼され安全で質の高い看護が提供できるように、また、看護師同士が、看護の価値観や楽しさなどを語り合え、共に成長できる看護部にしていきたいと考えています。今後ともご指導とご協力よろしくお願い致します。



看護部長 金中 礼子

放射線科医長
菊池 隆徳

4月1日より当院放射線科に参りました菊池隆徳と申します。平成元年に愛媛大学を卒業した後、放射線医学教室に入局しました。愛媛大学病院で1年間、大阪北野病院で4年間研修をした後、愛媛大学医学部大学院に進み、心臓核医学で学位を取得しました。

その後は、愛媛大学病院、国立病院機構呉医療センター、愛媛県立中央病院を経て当院に赴任致しました。専門は核医学と一般画像診断です。前任の県立中央病院ではPETや核医学を中心に仕事をしておりました。当院では一般画像診断を主に行っていますが、もし県立中央病院や四国がんセンターにPET検査で紹介される時に適応や患者さんの状態等に関して不明な点がありましたら、お気軽にご相談ください。

歴史が好きで寺社や遺跡、城跡を見て廻るのが趣味で、現在の目標は現存12



天守の登城と全国一宮巡拝です。西日本の多くは廻っていますが、東日本は移動に時間がかかることもあり、年に数カ所廻ればなと考えています。去年は熊本城（現存天守ではありませんが宇土櫓は江戸時代のもの）や阿蘇神社へも行きました。今回の地震で大きな被害が出ており、本当に心が痛みます。被災者の方々にお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念致します。

整形外科医師
大野 尚徳

本年4月から当院で勤務しております整形外科の大野尚徳（なおのり）と申します。平成12年に川崎医科大学を卒業後、1年間川崎医科大学総合診療科で研修を受け、平成13年から岡山大学整形外科教室に入局し、本年3月まで関連病院である岡山医療センター、竜操整形外科病院（岡山）、近森病院（高知）、香川県立中央病院等で診療に従事しておりました。

松山市出身の私としましては、当院がこの4月から新規参入しております松山医療圏域二次救急医療にスタートから携わられていることを嬉しく思っております。

整形外科疾患の全般に対応いたしますが、『骨折』治療には、より熱い思いを込めて診療していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



地域の輪



小規模多機能センターたのくぼ

繋がる地域医療連携

東温市の南吉井小学校や浮島神社をはじめ、田園地帯に囲まれた中に「小規模多機能センターたのくぼ」があります。

母体はイヨメディカルで他に松山市内にグループホームを2施設運営しています。

当施設は平成23年、地域密着型居宅介護サービスとして開設しました。登録定員29名で、通いは18名、宿泊9名まで利用ができます。

「笑顔で優しく親切に一人ひとりが、望まれる介護を懸命に努力します。」の理念に沿って、ご利用

者や、ご家族と相談しながら、通い、宿泊、訪問を組み合わせ、できるだけ長く在宅で過ごせるようにサポートをしています。地域との関わりを大切に行事にも積極的に参加しているところです。

小規模多機能型居宅介護のメリットとして、(1)1カ月あたりの利用料が定額なので、毎月の介護費用が膨らみすぎない。(2)契約する事業者が一つなので、連絡などの手間が少ない。(3)顔なじみのスタッフや利用者との交流がはかりやすい。などがあります。わたしたちはそのメリットを最大限に生かせるようスタッフ間で相談しながら、心地よい空間づくりに励んでいます。

最近では医療的な処置が必要なご利用者も多くなってきており、利用者の担当医師と連携を図りながら、各職種が専門性をもって協力しております。

今後とも小規模多機能センターたのくぼをよろしくをお願いします。



施設名：小規模多機能センターたのくぼ

住所：東温市田窪917-1

電話：089-955-5668

ファックス：089-955-5662

らくらく撮影 最新CT導入

5月16日より、新しいCT装置Aquilion PRIMEが稼働しました。高速に、楽に、低侵襲に、を実現した完成度の高いCT装置です。心電同期撮影による冠状動脈撮影、逐次近似応用再構成を用いた低線量撮影、またガントリーの開口径が780mm（従来は720mm）と広がったことにより、心理的な圧迫が少なくなり、体位の制限が多い患者様もポジショニングが容易になり、撮影が可能になります。

そして検出器が80列（従来は16列）になったことにより、胸部から骨盤部の撮影時間は5秒（従来は24秒）で可能になり、しかも高画質、再構成時間の速さ、被ばくの低減も実現でき、我々は、その高性能さを目の当たりにすることになります。



Aquilion PRIMEを操作する放射線技師

同時に画像解析装置SYNAPSE VINCENTを導入することにより、心臓領域、呼吸器領域の進化した3D解析が実施でき、医療画像の可能性をさらに広げることになります。

Aquilion PRIMEは高齢の患者さん、救急の患者さん、被ばくを抑えたい小児や若い患者さん、そして心臓検査など幅広い検査に対応できるCT装置です。

診療放射線技師長 水田 敏道

'16ふれっしゃ~ず

4月1日付新採用者に抱負や
意気込みをひと言ずつ語っ
てもらいました。
(50音順です)



22病棟 療養介助専門員
青野 淳子

皆様を癒せる、優しく逞しい介助員になれるよう頑張ります。



2階病棟 看護師
麻生 里菜

日々学び、日々成長していけるよう頑張ります。



4階病棟 看護師
阿部 奏美

不器用ですが、自分らしくめげずに頑張ります。



手術室 看護師
大谷 理紗

早く戦力になれるよう毎日頑張ります！



栄養管理室 栄養士
小野 今日子

患者様を食事の面からサポートできるよう笑顔で頑張ります。



21病棟 看護師
亀田 鮎奈

少しでも早く1人前になれるよう頑張ります。よろしくお祈りします。



2階病棟 看護師
菅 美子

早く仕事を覚えられるよう頑張ります。



2階病棟 看護師
菊澤 杏樹

仕事に慣れてスムーズにできるよう頑張っています。



22病棟 看護師
小池 佑依

患者さんに積極的に寄り添い、個別性のある看護を提供したいです。



4階病棟 看護師
斉藤 恵美

頑張ります。



23病棟 看護師
仙波 優梨

いつでも笑顔を忘れず、援助をおこないます。



21病棟 看護師
竹原 裕美

患者様に信頼していただける看護師を目指して頑張ります。



3階病棟 看護師
東條 紗知

一つ一つ正しく仕事を覚え、
患者様のために日々努力しま
す。



21病棟 看護師
中村 理華

いつでも笑顔を忘れず一生
懸命頑張ります。



2階病棟 看護師
西岡 小夏

1日1日を大切に、より良
い看護が提供できるように頑
張ります。



放射線科 診療放射線技師
西川 剛史

一日も早く放射線科の戦力
となれるよう、頑張ります！



1階病棟 看護師
新田 祥代

早く先輩方に追いつき、患
者様に信頼してもらえるよう
頑張ります。



4階病棟 看護師
二宮 万裕美

患者様の病態・思いを理解
し、看護を提供していきたい。



手術室 看護師
鳩崎 祥華

毎日、少しずつでも成長で
きるように頑張ります。



1階病棟 看護師
兵頭 寿美礼

1人1人の患者さんに合わ
せた看護ができるよう頑張り
ます。



2階病棟 看護師
廣田 晴子

早く仕事を覚えられるよう頑
張りたいです。



23病棟 看護師
日和佐 真衣

患者さん、家族さんから信
頼される看護師を目指して頑
張ります。



企画課 財務管理係
藤沢 千大

早く仕事に慣れ愛媛医療セ
ンターに貢献できるように頑
張ります!!



2階病棟 看護師
牧野 侑歩

笑顔で元気に頑張ります。



2階病棟 看護師
森田 朱香

一歩ずつ成長していけるよ
う頑張ります！

よろしく
お願いします



医心伝心

一過性脳虚血発作 (TIA) のおはなし

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

ある日突然、手足がしびれたり、力が入らなくなったり、ろれつが回らなくなったりしたことはありませんか？様子をみていたら、自然とよくなってしまったので、そのままにしていますか？

こうした症状を起こす病気のひとつが脳梗塞と大きな関係のある『一過性脳虚血発作 (TIA)』(transient [一過性の] ischemic [血流が乏しくなる] attack [発作] の英語の略称) と呼ばれるものです。TIAを治療しないで放っておくと、3か月以内に15~20%の方が脳梗塞を発症し、そのうち半数は48時間以内に脳梗塞になることがわかっています。さらにTIA後すぐ病院を受診し、検査・治療を始めれば、その後の脳梗塞発症率が大幅に下げられるという結果も報告されています。

特に高齢の方、高血圧や糖尿病、高コレステロール血症、心房細動と呼ばれる不整脈のある方、喫煙の習慣のある方などは、脳梗塞を起こす危険性が高いため注意が必要です。

よくある症状としては、片側の手足や顔のまひ、片側の手足や顔のしびれや感じ方が鈍くなる(運動・感覚の症状が顔や体の片側に起こることが多い)、ろれつが回らない、言葉が出ない、片方の目が見えにくい、片側にあるものが見えない、などがあります。

「自然とよくなったから様子をみよう」とは決して思わず、TIAを疑ったらすぐ脳卒中の専門病院(神経内科、脳神経外科、脳卒中科などのある病院)を受診してください。

神経内科医師 戸井 孝行



転入者紹介

4月1日付で当センターへ赴任してきた職員です。よろしくお願ひします。(50音順です)

氏名	職名	部署	前任地	氏名	職名	部署	前任地
青木 一雄	算定・病歴係長	企画課	邑久光明園	小山 敦史	経営企画室長	企画課	呉医療センター
稲田 椋	看護師	1階病棟	高松医療センター	高須賀仁美	看護師	21病棟	四国こどもとおとなの医療センター
大塚 太子	看護師	23病棟	賀茂精神医療センター	玉井 笑	専門職	企画課	高知病院
岡島 明美	主任保育士	療育指導室	柳井医療センター	田村加奈子	医科学主任	検査科	四国がんセンター
小野 妙子	看護師長	3階病棟	四国がんセンター	福積 愛	看護師	2階病棟	東広島医療センター
金子 幸代	看護師長	感染管理	呉医療センター	松本 直子	看護師長	手術室	呉医療センター
金中 礼子	看護部長	看護部長室	浜田医療センター	水田 敏道	診療放射線技師長	放射線科	岡山医療センター
川道 幸司	理学療法主任	理学療法室	徳島病院	宮脇 徹	看護師	手術室	岩国医療センター
木村 和也	副薬剤部長	薬剤部	浜田医療センター	宮脇祐香理	看護師	2階病棟	岩国医療センター
楠 愛果	看護師	22病棟	四国こどもとおとなの医療センター	頼本 真一	管理課長	管理課	岩国医療センター
工藤 美恵	看護師長	22病棟	東徳島医療センター	渡部 絢乃	教員	看護学校	四国がんセンター

看護の日 天晴れ 五月晴れ

5月12日は「看護の日」です。私たち看護の日・広報委員会では地域の皆様にも気軽に看護にふれただけのように今年もイベントを行いました。「看護の心を皆の心に」をテーマに隻手薬師で、身体測定や、健康相談を実施しました。この日は天気も良く、多くの地域の方々に来て頂きました。

私は今回初めて参加し、最初は緊張していましたが、来られた方々と会話しているうち、緊張も和らいでイベントに参加することが出来ました。

健康相談に来られた方の中には、「骨密度や、体脂肪率はなかなか測る機会がないから測ってもら



いたい』と興味を持たれる方も多くおられました。また「普段自分の健康について関心はあるが病院には行きにくいので、こうして家の近くに来てくると行きやすいし相談もしやすい」といった言葉や、「毎年この行事を楽しみにしている」といった嬉しい言葉も聞かれました。測定した項目が基準値でなくても、看護師からのアドバイスを聞き、安心した表情や笑顔で帰られる方が多く、私はこの行事のやりがいを感じる事が出来ました。

私たちは病院では、入院患者さんの疾患や症状に対して必要な看護を考え提供しています。しかし今回は地域の方にも、健康相談を行うことで、地域の方にも日常の体調管理を見つめ直す機会づくりとなり看護を身近に感じて貰えたのではないかと思います。病院での業務だけが看護ではなく、看護は日常にも含まれており地域の健康な方にも、健康を維持する為にその人に寄り添いその人にとって何が必要か考え支援できる事が大切と感じました。私は今回のイベントを通し、自分の看護観について考え、見つめ直す事が出来ました。

22病棟看護師 白石 滝一

夏だ！ 祭りだ！

サマーフェスティバル2016

重症心身障害病棟の全体行事「サマーフェスティバル2016」が、6月1日(水)に開催されました。

会場となった22・23病棟東側テラスには、栄養管理室提供による「デザートコーナー」、療育指導室企画の「くじ引きコーナー」、保護者会協賛による「ドリンクコーナー」が設置され、お祭り気分を盛り上げました。

また今年は、サマーフェスティバルのポスターに使うイラストを募集したところ、利用者みなさんから力作26点の応募がありました。その作品を会場に展示し、「ポスターイラストコンテスト」も開催。お気に入りのポスターの下にシールを貼っていただく方法で投票をおこないました。

ステージコーナーでは、まず愛媛奇術愛好会による「マジックショー」が披露され、大きな拍手がお



みきゃんと一緒



纏り衆 縁陣のパフォーマンス

くられました。続いて、纏り衆 縁陣(まつりしゅうえんじん)のみなさんによる「踊りパフォーマンス」が披露されました。纏り衆 縁陣は、松山市を中心に活動されているよさこい踊りのグループです。躍動感のある踊り、迫力のある音楽と鳴子のリズム、青空にはためく旗、きらびやかな衣装、どれをとっても身近では見聞きし体験できないものばかりです。会場が一体となってお祭り気分は最高潮。行事を締めくくるには最高のパフォーマンスでした。

愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」も駆けつけてくれました。「みきゃん」は、メイン会場を巡りながら、利用者みなさんと一緒に写真撮影をしたり握手したりと引っ張りだこ。その絶大な人気は今も健在です。またメイン会場はもとより、病状により会場まで出ることができなかった利用者さんの病室も訪問してくれました。

わずか2時間あまりのお祭りでしたが、利用者の方皆さん、保護者の方皆さん、職員も合わせると参加者約400名が、初夏のひとときを楽しむことができました。

療育指導室長 吉岡 恭一

共学共楽

新採用者宿泊研修



愛媛医療センターに就職し、病棟の先輩方に指導を頂きながら、毎日が勉強の中、はや2か月が過ぎました。そんな中6月に行われた新採用者宿泊研修に参加しました。研修は2日間行われ、新採用者25名が参加し、グループワークを主に行いました。

1日目、「医療センターの好き探し」を題とし、1グループ5人程度の5グループに分かれて医療センターのどのようなところが好きか、どのような特色があるかなどを話し合いました。話し合い中はアドバイザーさんに意見をもらいながら、模造紙に自分たちが話し合いでどのような意見が出たかなどを画用紙や折り紙などを使いまとめていきました。それぞれのグループでまとめたものを発表する際には、自分たちが気づいてなかった愛媛医療センターのいいところが出ており、こんなところもあったと感じることがありました。

2日目には「医療センターの未来図」という題で5年後の自分、病院を想像し話し合いを行いました。5年後には「一人前になっている」「指導を受ける側から指導する側へ」「認定看護師に向けて勉強」などの意見がありました。

話し合いは真剣に考えることも、笑いながら話すこともでき、グループ内での協調性も高まりました。また、それぞれのグループで発表の仕方違い、人前で話すことが苦手な私にとって勉強になりました。そして、グループワーク以外でもミニゲームがあったりと楽しんで研修に参加することができました。

お行儀悪いけど…

乗りますか？

ここを谷折りにして…

むっ、難しいな



この研修で愛媛医療センターのことが更に好きになり、なおかつ5年後、なりたい自分が想像できたと感じました。5年後の自分を想像しながら、今できることを一生懸命行い、想像した自分に近付けるよう努力していきたいです。

23病棟看護師 日和佐 真衣

「利楽」での一泊二日研修は、研修参加の新人と、幹部職員との合同オリエンテーションから始まりました。研修中、随所にわたり同じプログラムに参加し、新人の緊張を解そうとする心遣いを感じました。最初はジャンケンゲームで会場に連帯感と笑いが溢れ、リラックスモードでいよいよ研修本番です。

研修の柱であるグループワークでは、普段交流のない別病棟の新人同士でテーマに沿っての白熱した話し合いや、意見・情報交換ができたことで、私達が働く病院のことを更に深く理解することができました。グループワークを通して、新採用職員一同、改めて未来の自分自身の目標や夢を持つことができ、今後の業務の励みとなる貴重なものでした。

宿泊研修の醍醐味でもある夜の交流会では、新人と幹部とで食事をしながら、本当にざっくばらんに話ができる楽しい時間でした。勤務終わりの上司も大勢かけつけ、賑やかな交流会となりました。白衣やスーツでのかっちりしたイメージとかけ離れてフランクに話をしてくれる幹部に、会場のあちらこちらから新人の大笑いと言葉のシャッターの音が続いていました。

この研修では、医療センターで働く自分自身を改めて見直すことができ、それ以上に私達を見守ってくれている諸先輩の優しさを再認識できました。素晴らしい環境で働けることの有難さに感謝しながら、関わっていく患者様に笑顔を届けていきたいと思える、楽しい研修でした。

22病棟療養介助専門員 青野 淳子





安心は買えないから

医療安全管理室では、病院で安心して医療を受けることができるように、安全対策に取り組んでいます。

病院内の環境確認と改善、マニュアルや手順の見直し、職員が安心・安全な医療を提供できるよう研修会の開催、ミスが起こった時は何故起こったのか、どうしたら防げるのかなどを考え改善しています。

28年度は、二次救急病院としてもスタートしましたので、7月と9月に院外より医師、弁護士を講師に迎え全職員対象に「救急医療に関する研修会」を予定しています。また、各専門分野研修として、検査科・薬剤部・放射線科の院内講師による研修も計画しています。

すでに、新採用者・転入職員に対しては医療安全全般に関する研修を4月に実施しました。5月には、看護補助者を対象に、看護補助業務における医療安全の知識と技術研修を実施しました。特に、配膳業務では名前確認の重要性と確認方法について講義

と実技演習を行い、安全への取り組みを再確認しました。

6月には、地域の医療機関の方々に参加いただき「医療安全とは、虐待・事故発生時の対応、事例紹介」などの研修を行うことができました。これからも、安全で安心な医療の提供をめざし、院内・院外の方とも協力連携していきたいと考えています。



日ごとに暑さが感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

「暑い夏に食べたいもの」といえば、みなさんは何を思い浮かべられますか。

そうめんやざるそば、冷やし中華といった喉越しのよい麺類や、冷たいビールに枝豆、かき氷やアイスクリーム、とうもろこしなど…。今回は、子供さんから年配の方まで年齢を問わず夏の風物詩として好まれる「すいか」についてご紹介したいと思います。

すいかの歴史は古く、紀元前5000年にはすでに南アフリカで栽培されていたそうで、日本には室町時代以降に伝わったと言われています。「西瓜(すいか)」は、“中国の西方から伝来した瓜”とされるためこの名称が付いたようです。当時は、現在

のような緑の地に黒い縞があるのではなく、全身真っ黒で、気持ち悪いとあまり好まれなかったそうですが、明治に入り品種改良が進み、現在の姿カタチに定着したとも言われています。

英名では、Watermelonとも言われるように、なんと、果肉の90%以上を水分が占めています。水分には、夏の暑さでほてった身体を冷やしてくれる働きがあります。その他、からだのむくみを取ってくれるシトルリン、ナトリウムの排せつを促し高血圧予防に働いてくれるカリウム、免疫力を高める効果のあるリコピン、抗酸化作用のあるβカロテンも含まれています。(水分だけでなく、意外にビタミン・ミネラルも入っていますよ。)

暑い夏には、冷たく冷やした「すいか」はいかがですか。

※治療中の方は、主治医に確認されることをおすすめます。




平成29年度 入試案内

愛媛医療センター附属看護学校

	推薦入学試験	社会人入学試験	一般入学試験
募集人員	1校につき3名まで	5名程度	20名程度
出願期間	平成28年10月11日(火)～ 10月24日(月)	平成28年10月11日(火)～ 10月24日(月)	平成28年12月7日(水)～ 12月22日(木)
試験日時	平成28年11月16日(水)	平成28年11月16日(水)	平成29年1月25日(水)
試験科目	数学Ⅰ コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 小論文	数学Ⅰ コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 国語総合(古文・漢文除く)・ 現代文B
合格発表	平成28年12月1日(木) 10時	平成28年12月1日(木) 10時	平成29年2月9日(木) 10時
入学手続期間 (必着)	平成28年12月2日(金)～ 12月13日(火)	平成28年12月2日(金)～ 12月13日(火)	平成29年2月10日(金)～ 2月21日(火)

オープンスクールのご案内

日 時	第1回 平成28年7月23日(土) 10時～15時10分 第2回 平成28年7月31日(日) 10時～15時10分	
場 所	独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校	
内 容	公開講座 「患者さんの体をきれいにしましょう！」 看護体験Part1 「避難所体験」 看護体験Part2 「手浴・マッサージ」 看護体験Part3 「新生児の沐浴・妊婦体験」 在校生との交流会	
備 考	当日は上履き用のシューズ(体育館シューズなど)をご用意ください 昼食は各自でご持参ください 参加者全員に平成29年度の募集要項をお渡しします	
問い合わせ先	〒791-0281 愛媛県東温市見奈良1545-1 独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校 電話089-990-1830 ※平日の9時～16時でお願いします	

入学して1か月が経過しました。この1か月は新しい環境、新しく出会う人、新しく覚えることなど、毎日が新しいことの連続で、慣れるまでに時間がかかるだろうと不安に思っていました。しかし、ともに入学した第15期生は優しく親しみやすい人ばかりで、すぐに皆と打ち解けることができました。また、先輩方も、とても親切に接してくださって、分からないことを質問すれば優しく答えてくださいます。

授業は1コマ90分で、高校の頃よりも時間がずっと長くなりました。授業で出てくる言葉も専門的な言葉が多いですが、先生方は分かりやすく、丁寧に説明してくださいます。

クラスには同じ夢を持つ39人の仲間がおり、つらいと思っても周りにいる仲間と励まし合いながら頑張ることが出来ます。

学業はこれからますます大変になると思いますが、自分が理想とする看護師になれるよう、精進していきます。

私たち15期生は、先輩方とは少し違い、全員が現役生です。なのでそのフレッシュな雰囲気でも40人全員が、3年後に胸を張って看護師として羽ばたくことができるように頑張っていきたいと思います。

15期生 平田 ことの

誓いの言葉



十年ぶりの愛媛医療センター勤務です。以前勤務していたときは国立療養所愛媛病院でしたから、月日が経つのは早いものです。外来棟周辺はあまり変化がないように見えますが、一般病棟や重心病棟、サービスク棟など目新しい建物も目立ちます。思えばこの病院からの転勤が単身赴任の始まりで、小学校入学前の子供が、また一緒に暮らすようになってみればもう高校生です。人がこれだけ成長する時間が流れたのだから病院の様子も変わっていて当然とも思えてきます。

建物だけでなく職員の方も定年だったりと、転勤だったり随分と入れ替わったようですが、たまに懐かしい顔を見つたりするととても嬉しいものです。中には職員から患者さんへと立場を変えている方もいらっしゃるかもしれません。こちらを見つけると笑顔で駆け寄って頂けました。私にとつて転勤は離別の寂しさもありますが、このように出会う再会の嬉しさもあるのではと何となく思っています。

出会いは美しい風景との出会いだけでなく私は美しい風景との出会いも楽しみにしています。最近までいた山口県では錦帯橋や秋吉台、角島などが有名で私も赴任中は観光に行きました。一番のお気に入りには屋代島(≡周防大島町)からの瀬戸内の風景です。実は山口県周防大島町と松山市は国道四三七号線で直接繋がっています。松山市三津浜港と周防大島町伊保田港との間は、全国に二十四箇所ある海上国道の一つでフェリー航路が国道となっており、赴任先から帰るときにはよく利用していました。晴天の日にフェリーや道沿いから見える海や島々はとても美しく、いつまでも眺めていたい気分にはさせられます。山口方面に行かれる機会がある方には是非おすすめるルートですが、悪天候時の船酔いと、車の運転には少し注意が必要です。(伊保田から本州と繋がっている大島大橋まで約三〇キロメートル、信号が少ないのでスピードを出している車が多い。)

十年ぶりの愛媛は地元でも美しい景色が見られる場所はそれなりに増えた体重的減量も兼ねて、今度は歩いて探せる身近な風景の中にお気に入りを探してみようと考えています。



旨脂糖

ちよつと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科	船田	岩田 関谷 泉	岩田 泉 檜垣	岩田	船田
消化器内科	古田	山内(一)	久保 廣岡	山内(一) 糖尿病専門 大藏	久保
呼吸器内科	阿部	伊東 渡邊	佐藤	阿部 大久保	伊東 中村
神経内科	小原	雑賀		小原	戸井
外科	石丸				
消化器外科		鈴木	森本	渡部(第3)	
呼吸器外科				佐野(第4) (14時30分~)	湯汲
整形外科 午前のみ診療	宮本 横手	曾我部	曾我部	宮本	大野
専門外来 (予約制)	心臓外科			泉谷(隔週)	
	ペースメーカー外来			第2・4(午後)	
	糖尿病外来		山内(一)	山内(一)	古川(第2・4)
	フットケア外来			毎週	
	スキンケア外来		第1・3(午前)		
	ペインクリニック			山内(康)(午前)	
	じん肺外来				西村(第1・3)(午前)
	アスベスト外来		午後		午後
	息切れ外来	渡邊(13時30分~)			
	SAS外来				渡邊(14時~16時)
	神経難病			橋本	
	小児(神経外来)	矢野		今井	
頭痛外来				永井(第2・4)(午前)	

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。
 ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2016年7月1日現在

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

当院の位置と交通



高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
 - 高松西IC(130.9km) 1時間30分
 - 徳島IC(170.9km) 1時間50分
 - 高知IC(130.1km) 1時間30分
- (川内ICから当センターまで車で5分)

交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
- 自家用車 無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊誌へのご意見・ご要望・ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。